

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月27 日

事業所名：療育センターらいふ 療育センターみらい 療育センターあづみの

		チェック項目	はい	いいえ	検討の余地あり	わからない	工夫している点および課題点	課題等を踏まえた改善の方向性
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	11	3	0	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	0	2	0	2階への階段にはお子さんが自分で昇降できるよう、低い位置に手すりをつけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	0	1	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	14	0	0	0	カンファレンスの時間に書類の書き方や書式等について話し合っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	0	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0	0	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	1	0	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	2	1	経験年数に応じた研修、新入職員対象の育成や研修、管理者レベルの研修など、研修・育成のシステムが必要と思われます。	新たに職員を新規採用するにあたり、計画的かつ系統的な育成に取り組む必要があると考えます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13	0	0	1	保護者から様子やニーズを聞き、カンファレンスで共有し複数の目線で考えるようにしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	0	2		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	0	1	0	個別支援計画の書式について、一定期間は各事業所で試験的な運用をしつつ、その結果を共有し、書式を統一していくことが望ましいと思われます。	今年度は事業所ごとに書式を検討しながら運用しよりよい方式を探ってきました。次年度は法人共通の方式への移行を検討しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	0	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	0	0	0	プログラムの大きな計画を作りカンファレンスで評価をおこなっている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	0	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	14	0	0	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	0	0		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	1	0	終了後のカンファレンスの進め方、話合いの論点を明確化できるカンファ記録の書式、次回のねらいが明確化される書式を検討してもよいと思います。	個別支援計画の立案方法や療育の年間計画の立て方と運動して、カンファレンスもより有意義な時間になるよう検討したいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	1	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13	1	0	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	1	0	要請のあった会議への参加には取り組んでいる。相談支援事業所としての会議主催の取り組みは十分でない面もある。そのための職員体制の整備が課題と思われます。	計画相談の本来の役割が発揮できるような体制や運用方法の検討は継続の課題です。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13	0	1	0	保育園等との連携の1つである保育所等訪問支援の展開とそのため知識や技術の共有、職員体制の整備が課題と思われます。	児童の課題を園と共有し、療育内容を汎化していくために保育所訪問は重要です。実施体制や技術の共有は継続の課題です。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14	0	0	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13	0	0	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	0	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	0	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	0	1	支援手帳等で情報共有している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	8	0	0	機会があればおこなっていききたい。	多くの児童が園との併用のため、主たる活動にはなりにくいが、定型発達の集団へ参加していくにあたって必要なことへの支援は引き続き行っていきたいと思います。。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10	3	0	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	0	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	0	0	0		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0	0	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0	0	0		

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0	0	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14	0	0	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	0	0	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	2	2	1	法人ホームページの整備、活用が課題と思われます。事業所案内の紙媒体もデザインの向上を検討してもよいと思います。	ホームページや紙媒体による事業案内の更新、活用は不十分と感じます。よりよいものになるよう活用を考えていきたいと思っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13	0	1	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	5	1	0	ボランティア等の受け入れをしている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	0	1	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	1	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	13	0	0	1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	1	0	1		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1	0	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	0	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	1	0	1		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。